

寧楽教育講座

～ 寧楽秋季講座会 ～

とき：平成25年11月16日(土)

時間：13:30～15:00

会場：奈良教育大学 大会議室

定員：70名

参加費：無料 ☆申込不要・入場自由☆



講師 三辻 利一（奈良教育大学 名誉教授）
演題 土器遺物から日本古代史は読めるか
概要

1950年、文化財保護法が制定されて以来、遺跡の発掘は大学ではなく、行政(教育委員会)が中心となって進められて来ました。その結果、膨大な量の土器遺物が発掘され、各地の教育委員会が保管しています。一方、日本の近代考古学の開祖といわれる京都大学の浜田耕作は考古学は過去を再現する歴史研究の学問分野であると定義しています。そうであれば、土器遺物から過去を読み取る方法論を開発しなければなりません。私は奈良教育大学に奉職した30年余、土器遺物から過去を再現するための方法論の開発研究を進めて来ました。その結果、考古学的方法論として「須恵器産地推定法」が提示されました。この方法論を使って、全国各地の古墳から陶器産の須恵器を検出しました。陶器(現・堺市)は、大和政権の墳墓群である古市古墳群と百舌鳥古墳群に隣接したところにあります。ここで、古墳での祭祀道具である須恵器を大量に生産し全国各地の古墳へ供給したのです。

【お問合せ】 奈良教育大学
総務企画課(国際交流・地域連携)
電話 0742-27-9108

【交通案内】 近鉄奈良駅・JR奈良駅より
市内循環バス(約10分)
高畑町(奈良教育大学)下車

【その他】 来場者用駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催 奈良教育大学
後援 奈良県教育委員会、奈良市教育委員会

朝日新聞社奈良総局、産経新聞社奈良支局、毎日新聞社奈良支局、読売新聞社奈良支局

